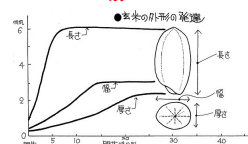













2022年度 特別栽培コシヒカリ(認証③)栽培ごよみ【移植】

月旬別	2021年		2022年																							
	9月～10月	10月～12月の期間中	4月			5月			6月			7月			8月			9月			9月～10月	10月～12月の期間中				
時期	土づくり	農閑期	育苗期			田植期、活着期			有効分げ時期			無効分げ時期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			収穫期	土づくり	農閑期
水管理	稲わらの踏み込み 作土深15cm以上 湛水管理 (2ヶ月以上)		代掻きから田植えまでを短く 現地検査			代掻き			除草剤散布			中干し延期			中干し			幼穂形成期から 間断湛水			徐々に地固め			稲わらの踏み込み 作土深15cm以上 湛水管理 (2ヶ月以上)		
管理作業の要点	<p>スタートは土づくりから</p> <p>ケイカルは化学肥料としてカウントしない</p> <p>土づくり ケイカル 500kg/10a散布</p> <p>クロレートやラウンドアップは使用しない</p> <p>けい酸補給と酸性土壌の改善</p> <p>秋耕し 作土深15cm以上</p> <p>生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)</p>		<p>育苗</p> <p>播種時にルーチンエキスパート粒剤を必ず散布有機肥料入り床土を使用</p> <p>種子の温湯消毒後直ちに浸種(JAへ必要量を注文)</p> <p>有機肥料入り床土</p> <p>換気の徹底</p> <p>ハウス内温度は昼間25度以下 カビの発生を抑制する</p> <p>田植え同時除草剤カウシルコンプリート粒剤を散布</p>			<p>田植後は浅水管理で分けつ促進。水稻の生育に合わせて除草対策のため深水管理</p> <p>最高分げ時期 茎数が25本/株 あれば十分</p> <p>有機肥料の場合、効果が出るまで約1週間かかる 幼穂長2mm 1回目 1回目の7日後 2回目</p> <p>ラジコン防除</p> <p>胴割米対策 収穫2～3日前までの間断湛水</p> <p>通常米と区分して 収穫・乾燥</p> <p>適期刈取 青割割合10～15% 籾水分 20～25%</p> <p>特別栽培と環境保全の取組を</p>			<p>コナギ、オモダカ、ヒエの抜き取り</p> <p>幼穂の確認</p> <p>1回目このたびり(有機長2mm) 2回目このたびり(有機7.1.2)</p> <p>出穂前後は湛水管理徹底</p> <p>出穂前5穂揃期カメムシ防除 1回目スタークルメイト液剤 2回目エクシードEW 1回目アルバリン粉剤DL 2回目エクシード粉剤DL</p> <p>個人防除</p> <p>こたわり有機7.1.2</p> <p>1回目このたびり(有機長2mm)</p> <p>2回目このたびり(有機7.1.2)</p> <p>畦畔除草 ラウンドアップマックスロード 液剤100倍液</p> <p>除草剤散布(2回目) クリンチャー粒剤 1kg/10a 1.5kg/10a</p> <p>除草剤散布 カウシルコンプリート粒剤 1kg/10a</p> <p>※ジャンボ・フロアブル剤も可</p> <p>化学肥料の使用を低減する技術 (有機肥料施用技術)</p> <p>基肥 HG有機666 (有機666/10a)</p> <p>胴割米 乳白米防止対策 山平 5月13日以降の田植え 山間地 極端な疎植は避ける(60株/坪)</p> <p>土づくりに関する技術 (堆肥等有機資材施用技術)</p> <p>くみあい床土(有機肥料入り)を使用 土づくりミネラルPK 60kg/10a 苗箱内による葉いもち・紋枯病予防(ネミスラムシ他)</p> <p>播種時・移植当日 ルチンエキスパート箱粒剤 50g/箱 山平 4月23日播種 山間地 4月22日播種 乾燥130g/箱</p> <p>苗立枯病 500g/1000倍 500g/1000倍 0.5L/箱</p> <p>水温60℃で10分間浸種 (浸種後直ちに冷却)</p> <p>化学合成農薬の使用を低減する技術 (温湯種子消毒技術)</p> <p>温湯消毒済み種子を使用(JAから購入)</p>			<p>1.9mm以上網目で選別 籾水分2.5%以下で収穫 (9月10日頃)</p> <p>胴割米防止対策 間断湛水 (収穫2日～3日前まで) フェーン時は予め入水 根の活性化を図る</p> <p>選別網、流量を適正に</p>  <p>選別網、流量を適正に</p>			<p>生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)</p> <p>秋耕し 作土深15cm以上</p> <p>けい酸補給と酸性土壌の改善 土づくり ケイカル500kg/10a</p>											
化学肥料窒素 栽培期間中不使用	有機肥料窒素のみを使用する		 ミネラルPK 60kg			 有機肥料入り床土			 HG有機666 60kg			葉色、茎数、草丈に応じてこだわり有機712を施用 目安 平地地30kg/10aの2回 山間地25kg/10aの2回			 こだわり有機712			化学肥料窒素合計 不使用								
節減対象農薬 10成分/10a以内	農薬の使用回数 いずれも1回		 ダコニール (1成分)			 ルーチンエキスパート 箱粒剤 (3成分)			 カウシルコンプリート粒剤 ジャンボ剤 (2成分)			 クリンチャー粒剤 (1成分)			 ラウンドアップ マックスロード液剤 (1成分)			 エクシード粉剤DL (1成分)			 アルバリン粉剤DL (1成分)			節減対象農薬合計 10成分		

